

だいじゅうごしょう 第十五章

だいまよう 大名

けっこん けいかく た はじ ひ ど き とのさま しょうたいじょう おく
結婚までの計画を立て始めました。日取りを決めて、殿様に招待状を送りました。

となり くに だいまよう しょうたいじょう だ だいまよう しょうたいじょう き い
隣の国の大名にも招待状を出しました。しかし、大名は招待状が気に入りません。

おんな まえ だいまよう むすめ だいまよう にんじゃ おさ い
「あの女は前の大名の娘なのか？」と大名は忍者の長に言いました。

おお まち わかとの い おさ こた
「大きな町の若殿はそう言っています」と長は答えました。

むすめ まえ しゅうじん だいまよう き
「娘は前は囚人だったのか？」と大名は聞きました。

おさ こた
「はい」と長は答えました。

むすめ い われわれ あくじ わかとの かぞく まえまえ
「娘が生きていては、我々の悪事がばれてしまう。その若殿の家族は前々から
わたし だいまよう はんたい わかとの むすめ せいとう けいしょうしゃ ちから も
私が大名になることに反対した。若殿が娘の正当な継承者としての力を持
てば、私は今の地位を失ってしまうではないか！なんで殺さないのか？！」と
だいまよう さけ
大名は叫びました。

だいまよう さどう か けっこん し めいはい
「大名さまは茶道家と結婚したいのかも知りませんし、命令をいただいておりますし…」

だま かんが わたし むすめ けっこん だれ けいしょう そし
「黙れ！考えておるところだ！あっ！私が娘と結婚すれば、誰も継承を阻止できない！」

す ば かんが だいまよう
「素晴らしい考えでございます、大名さま」

けっこん わかとの けっこん
「どうしたら結婚できるかな。もうすぐ若殿と結婚するであろう」

「もし結婚式の前に娘を連れ去れば、大名さまは娘と結婚できるかも知れません」

「黙れ！今考えておるところだ。そんなに一度に言われたら、考えることができません。あっ！娘を連れ去れば、結婚できるのか！」

「よい考えでございます。しかし、娘は狐に守られているようでございます」

「そのようだな。どうすれば妖怪を避けて、あの娘を手に入れることができるのか？」

「噂では鬼の助けを得て、前の大名を倒したということです」

「あーもう、話が長くて、ちっとも考えられないのだ！あっ、もう一度鬼の助けを得ればいいのか」

[Yuki no Monogatari](http://www.TheJapanesePage.com) by Richard VanHouten
<http://www.TheJapanesePage.com>